

令和5年12月発行

第63号(令和5年度 第3号)

# わくわく通信

【発行者】

特定非営利活動法人 わくわくネットいわき

〒970-8028

福島県いわき市平上神谷字神谷分 22-1

TEL 0246-57-0255

FAX 0246-57-0256

## 「構造化」について 病院（入院）生活での体験から考えたこと

元副理事 渡邊 明（社会福祉士）様

3年前の12月、ウォーキング中、前後不覚になり脳神経外科・外科の病院に救急搬送され1ヵ月入院その後、全国がコロナ禍の中、治療、リハビリ、脳外科手術と3回の入院、都合4ヵ月間の病院生活を送った。その前半は、物をつまめない、段差を歩けない等身体に生じた運動障害（左半身全麻痺）中心に注目していたが、後半は、自分の病室や、身辺用品の置いた場所がわからなくなる、時計（アナログ）の時刻が読めない、片側の空間に注意が向かずぶつかる（半側空間無視）等々、記憶や認知に関わる脳の働き（高次脳機能）にも障害があることに次第に気づいてきた。そうしたものの2回目の入院期間終了時自宅に一旦退院。3ヵ月ぶりの帰宅。普通ならほっととするのだが、自室も入るといきなり強い違和感を感じ頭の中が混乱してしまった。そうした中で直観的に浮かんできたのが「構造化」という用語だった。入院中の病室は個室ではないもののカーテンで仕切られたスクウェアな空間にベッドと小型家具のみという極めてシンプルな生活の場所だった。言い換えれば「構造化」された空間。それが崩れたことが混乱のきっかけではないかと後日解釈した。最後となる4回目の入院終了後もこうした混乱が脳機能障害と合わせてしばしば起こり、実は今も続いている。

「構造化」はわくわくで採用するTEACCHプログラムのキーワードです。それには次の種類があり①物理空間、②時間、③活動、④言語表現がありそれらを視覚化しながら進めるものとのこと。そこに自身の状態の快復の手掛かりがないかと具体的例を調べ始めてみた。

そこでまず手掛けたのが自室の「構造化」。視界に多くの情報が入り過ぎないように、壁面の本棚の棚にある書籍を一掃、レターラックなどの物品を処分した。その時期、ケアマネさんの支援で通所リハビリ利用（介護保険サービス）が可となり事業所探しになった。その際も先の①から④に即して見学、体験利用し、ほどなく適当な所が見つかり、早速、週2回の利用につながった。「構造化」はTEACCHの一文字ごとの略語が表す範囲だけでなく、より広い領域で応用されているものでないかと、自身の体験から考えている。

ところで、3年前の発症は、脳の動脈の病変で、指定難病（22）に拠るものだと最終診断された。今のところ、毎日の生活の軸足を健康・体力保持とリハビリに置いている、今回考えた事柄を自学して軸足を前に進めたい。



# わくわくウォークラリー

実行委員長 新妻 弘治朗

ウォークラリーにご参加頂きました、約160名の皆様、本当にありがとうございました。

又、御協賛頂いた関係者様、スタッフ、ボランティアの皆様ありがとうございました。事故、怪我無く無事終える事が出来ました事をこの場を借りて感謝申し上げます。当日は、天候にも恵まれ、セカンドハウスわくわくの周りを、長いコースと短いコースに分かれて、楽しく歩くことができました。セカンドハウスわくわくに戻って来てからは、サリナ舞踊教室フラメンコさんによるダンス。その後は、恒例のSAYANさんによる演奏会でした。わくわくウォークラリーの開催意義としては、参加者の方々の笑顔や、又次回も参加してみたいな、わくわくの行事だから思い切って参加してみようと思って頂き、様々な経験を通じて成功体験を積み重ねて頂ければと考え開催しておりますので、今後共、当法人にご理解を頂き、次の機会もご参加頂ければ幸いです。ご参加頂いた全ての皆様、本当にお疲れ様でした。



いってきまーす!!





スタンプもらったよ♪



ばんざーい!

がんばって歩いたよ~!!



SAYAN様



フラメンコの皆様

【ご協力頂いた方々】 赤塚建設株式会社様・(株)朝日通信様・株式会社荒建様・株式会社いわきエイジェンシー様・鎌倉工務店様・鴨沢卓郎様・木村保険事務所様・きよみサービス株式会社様・有限会社クリーンみき様・株式会社建誠様・株式会社ジェイ・ケイ・リアルタイム様・(株)ジャクエツ水戸店様・税理士法人いわきビジネス会計様・チャレンジド保護者会あかざの会様・特定非営利活動法人ひまわり様・双葉事務器様・(有)丸美食品様・マルワ石油ガス(有)様・(有)明生文具様・八幡印刷株式会社様

【ご出演頂いた方々】 空想民族音楽SAYAN様・サリナ舞踊教室フラメンコ様 (五十音順)

※写真の掲載にあたってはご本人の同意を得ております。

## ～実習感想～ 実習を通して学んだこと・感想



実習生のみなさん  
ありがとうございました！

私は、今回セカンドハウスわくわくで実習を受けて、利用者支援において利用者の特性を理解することが大事であることや、支援者同士で連携し、チームで支援することが大事であることを学びました。また、相談支援のモニタリング会議に参加した際には、他の専門職の方が話しやすい雰囲気作りを大事にしていることや、他職種の意見を尊重し、それぞれが連携していることを学びました。

東日本国際大学 4年 金成 優太郎さん

約一ヶ月間の実習を通して、利用者様との関わり方から保護者支援、保育所等訪問見学など、現場だけではない幅広い学びを行うことができました。視覚的支援は大きな影響力があり、分かりやすいものであるかについて実感し、環境を整えることの重要性について学びました。利用者様との関わりを通して、行動一つ一つが私たちへの発信であり、理由があること。そして、発信に気づき、受け取りサポートをする。“やってあげる”のではなく、自立を促すようにサポートすることが重要であると学びました。最後に約一ヶ月間とても充実した実習期間でした。受け入れてくださった、わくわくネットいわきの職員の皆様、利用者様、保護者様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

日本国際大学 3年 石崎璃里香さん

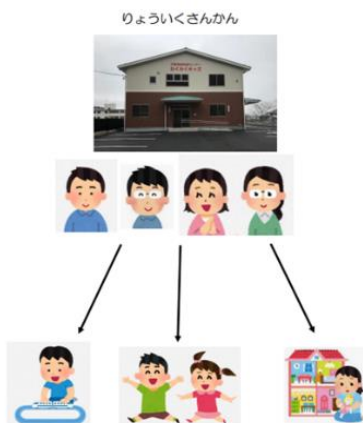
わくわくネットいわきで8日間、社会福祉士実習でお世話になりました。今回の実習を通して、自閉症スペクトラム障害の障害特性はなにかを深く知ることができました。利用者はなにを感じているか、なぜこのような行動をしたのかを子どもの目線に立って考え、理解することが支援者にとって大切な視点であることを学ぶことができました。実習で学んだことを今後の学びや社会福祉士に向けて活かしていきたいと思います。短い期間でしたが、ありがとうございました。

東日本国際大学 3年 近藤美凜さん

## 我が家の逸品

### ～児童発達支援センター わくわくキッズ～

お子さんの療育現場を間近で参観していただき、療育内容や支援方法の共通理解を図る目的とした「療育参観」を実施しました。当日は、①利用児さん支援としてお勉強でソーシャル「りょういくさんかん」を読む ②保護者さん入室・見学 ③保護者さん退出 の流れで行いました。



わくわくに ばばやまが みにきます。  
みんなのかぞくも みにきます。  
わたしは わたしのすけじゅーを おこします。

保護者さんが見に来ることを伝えたことで、子どもたちは混乱なく活動ができていました。参加された保護者さんからは、「実際の活動様子が見られてよかった」「関わり方が学べた」などといった声がありました。送迎で直接話す機会が少ない保護者さんと利用児の様子について話すよい機会となりました。今後も時期を見て行ってきたいと思います。



## 利用者さんの作品のご紹介です

チャレンジドをご利用の櫻林健志さんが所属する“はなのころ”という団体で、市内施設に作品展示がされておりました。所属団体の代表様からのお話です！

「はなのころ」は 2020 年春から「障がい者の夢を咲かせる」のを理念に掲げて活動しています。運営者は代表・西山将弘一人で(協力者募集中)、以前、チャレンジドでもボランティアをし、福祉の現場を勉強させていただいたこともありました。

「はなのころ」の目的は、障がいの方の「好きなこと」「得意なこと」を社会に繋げて生きがいを生み出すことです。2023 年 10 月現在、障がいのメンバー 25 人(半分近くは活動休止中)が在籍。ホームページや SNS で、メンバーのプロフィールや作品を発信するのを基本に、グッズをデザイン・販売したり、老舗旅館「古滝屋」など街中に作品を展示したりして、夢に一步でも近づけてあげられるよう、チャンスをつくっています。

才能があっても社会で発揮する機会がないまま埋もれさせるのではなく、一人でも社会で活躍でき生きがいを持てるようになってほしいと願っています。

はなのころ 代表 西山将弘



水彩画「あじさい」



缶バッチ

# 今後の主な予定

## 法人共通

12月29日(金)～1月3日(水) 年末年始休業

### ★放課後等デイサービス セカンドハウスわくわく

- ・ 2/3(土) 保護者学習会
- ・ 2/15(木) 避難訓練

### ★児童発達支援センター わくわくキッズ

- ・ 12/21(木) 避難訓練
- ・ 1/6(木) わくわく広場
- ・ 1/19(金) 避難訓練
- ・ 1/20(土) 保護者学習会
- ・ 2/1(木) わくわく広場
- ・ 2/19(金) 避難訓練
- ・ 3/7(木) わくわく広場
- ・ 3/19(火) 避難訓練
- ・ 3/20(水) 卒園式



### ★居宅介護 移動支援 行動援護

- ・ 2/15(木) 避難訓練

### ★放課後デイサービス セカンドハウスほっぷ

- ・ 2/3(土) 保護者学習会

### ★児童発達支援事業所 ゆいまーる・ふくしま

- ・ 12/26(火) 避難訓練
- ・ 2/17(土) 保護者学習会
- ・ 3/23(土) お別れの会

### ★生活介護事業所 チャレンジド

- ・ 12/25(月) クリスマス会
- ・ 1/26(金) おやつ作り
- ・ 2/2(金) 節分会
- ・ 2/14(水) 避難訓練
- ・ 2/17(土) 保護者学習会

※予定は変更になる  
場合がございます。  
ご了承ください。

## ～おしらせ～

- \*受給者証が新しくなりましたら、できるだけ早く事業所へご提示下さい。
- \*日頃から空き缶等のご寄付をいただき、誠にありがとうございます。  
今後ともアルミ缶、ペットボトル、古いシーツ、タオルケット等のご寄付のご協力をお願い致します。
- \*事業所をご利用される場合は、持ち物にお名前をご記入して下さるようお願い致します。



## ～編集後記～

例年に比べ暑い日が続き、秋を越えていきなり冬のような気候です。わくわくウォークラリーも天候に恵まれ、皆様のご協力のもと大成功に終わることができました。協力頂いた皆様、ご参加頂いた皆様ありがとうございました。今年は寒暖差が大きく様々な病気にかかりやすくなっているようです。引き続き体調に気を付けて楽しい冬をお過ごしください。



## 知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、自閉症児者のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

### 生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者  
株式会社 ジェイアイシー 南東北支店  
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11  
レイTONビル7F  
TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

■引受保険会社  
AIG損害保険株式会社  
https://www.aig.co.jp/sonpo  
仙台支店  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階  
TEL: 022-726-7551  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

#### 主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

#### 保険のお問合せはこちら

#### ご入会のお問合せはこちら

福島県知的障害児者生活サポート協会  
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111  
福島県総合社会福祉センター  
福島県手をつなぐ親の会連合会内  
TEL: 024-573-5980 FAX: 024-522-7228